



住みよいまちを目指して

笠松町長 広江 正明

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には清々しく新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げますとともに、日頃から町行政に対する温かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、現下の社会経済情勢は極めて不安定であり、国内情勢としましても雇用問題、景気問題など、難問が山積しており、日本全体が出口の見えない閉塞感の中で様々な模索を続けております。

笠松町におきましても、町民の皆様にも痛みを伴う行財政改革を断行し、温かいご理解とご協力の下、健全な行財政運営を推進することができ、今日に至っておりますが、今後増加する行政需要に対応するためには、今まで以上に健全な財政運営が必要となってきます。このような中、真に必要な行政サービスを見極めながら、財政基盤をより強固なものとするだけでなく、将来の笠松町の活性化へ向けて、各種施策を進めてまいります。

さて、去年は笠松町生誕120年の記念すべき年となり、年間を通して各種記念行事を行い、11月には盛大に「笠松町生誕120年記念式典」を開催することができました。これも皆様のお力添えがあっただけであり、深く感謝申し上げます。

私たちは、記念事業を通して、先人たちが培ってきた貴重な資源を再確認し、それを基に新たな魅力を再発見し、ふるさとに「自信」と「誇り」を持つことができたものと確信しております。また、これまでを振り返り、改めて伝統や歴史を積み重ねていくことの大切さと重さを感じることができました。そして、

大きな可能性を持ったこの豊かな笠松町をさらに発展させ、次の時代に引き継がなければならない責務を痛感しております。

今後は、第一に、本格的な少子・高齢化を迎え、子供を安心して生み育てられる環境と、高齢者がいきいきと暮らすことができる環境づくりに取り組み、住民全体の生活福祉の向上に努めること、第二に、県都岐阜の一翼を担う地域として、歴史・文化や地域資源を生かし、産業振興と交流人口の拡大を図り、その顔となる新たな機能を持った中心市街地を活性化するなど、経済力のあるまちづくりに努めること、第三に、四季の豊かな美しい自然と環境を守り、豊かな恵みを大切に、そこで育まれた厚い人情と道徳心を持つ「地域の人々の顔がみえるまちづくり」を進めることを重点施策として、住民協働の合言葉に、安全安心なまちづくりの理念を基軸とした町政運営に努めてまいります。

また、順次計画を進めてまいりました「まちの駅」が町内に39駅誕生しました。個性あふれる「まちの駅」が人との交流・出会いの拠点として町民の皆様をはじめ、来訪者への新たな情報の提供、発信をすることになります。町民の皆様とともにより一層内容を充実させ、安心してまちづくりを楽しむことができるよう進めてまいります。

今後とも、町民の皆様のご知恵と工夫を賜りまして、全職員が一丸となって笠松町の発展のために尽力、邁進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。新しい年が希望に満ちた飛躍の年でありますように祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。